



いすぐみだより

2025年度2月号 尚徳福祉会生麦保育園

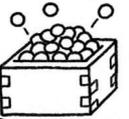


園庭に出ると、元気よく走り回っている幼児クラスのお兄さん、お姉さんの姿を真似てちょこちょこと走り出しているりす組の子どもたち。「もうすぐうさぎさんだよね」「おへやかわるの?」と気持ちも進級に向かっていようです。りす組での生活を充実させながら、進級に向け安心して過ごしていけるよう関わっていきたいと思います。



～ドキドキ 初挑戦!～

はさみに挑戦しました。クラスで取り組むのは初めてだったので、保育者と一対一でゆっくり時間をかけて丁寧に使い方を伝えました。紙だけでなく指や髪の毛も切れてしまうこと、目に入ったら見えなくなってしまうかもしれないことなど、いつも以上に真剣に繰り返して伝えたからか、いざ保育者がはさみのカバーを取り出すと「ドキッ」とした表情を浮かべていました。まずは一回切りからということで、細長く切った画用紙を一回で切りきる練習をしました。はさみのグーパーの動きが難しいようで、途中ではさみが横に寝てしまう子もいましたが、うまく切れなくても諦めることなくみんないい緊張感で取り組んでいました。自分たちで切った画用紙を見ると「できた〜!」と嬉しそう。「もういっぱい」とリクエストする子もいました。一回切りした画用紙は、鬼のお面の髪の毛部分に糊で貼りました。これからはさみを取り入れ、製作あそびの幅を広げて楽しみたいと思います。



イヤイヤ期も終盤…?

りす組になりもうすぐ一年!進級当初のイヤイヤは見られなくなってきました。嬉しいような寂しいような…園と家庭での姿の違いを日々感じていられるかと思いますが、園と家庭での姿は違って当然!保育園では「外の顔」で集団の一員として過ごせている証拠だと思います。逆に、園でも家庭でも同じ姿ということは保育園も安全基地と感じてくれている証拠!どちらの姿もその子の一面です。

最近の子どもたちは意思表示がとても立派(笑)で、保育者の些細な発言にも「ちーがーうー!」「いやだ!」「だめ」と怒っています。かなこ先生が「うっ…」と女優顔負けの涙の演技をすると、慌てて優しく言いなおすことも(笑)わたしが「おこっているの!?!」とオーバーリアクションしたり、インタビュー形式に「どうしたいですか!?!」と聞いたりすると、思わず「ふふふ」と笑ってしまう場面もありました。一緒に過ごしてきた関係があるからこそそのやりとりが、とても楽しくて毎日笑いが絶えません。もちろん、こちらが真剣に注意をする機会もまだまだ多くあります。ですが4月に比べて質問に返事をしたり、状況を説明してくれたり、内容の濃いやりとりに変化しつつあります。言葉の意味を理解し、分かったうえで自分がどうしたいのか、を少しずつすり合わせられるようになってきました。お互い体力と気力を使いますが、このやり取りがとても大切だなあ…と実感している担任たちです。

おしらせ

- ・登園用の子ども用のリュックにはお守り、キーホルダーや缶バッジ、ピンなどは付けしないでください。(けがや破損、紛失を防ぐため)
- ・布パンツを履いているお友だちは、登園時から履いてきてくださると助かります。(体調不良、下痢、便秘等の時はオムツで大丈夫です★)
- ・28日(土)に懇談会があります。詳細は別紙でお知らせします。

